

# 地域の実情に合わせて町が選んだ事業はコレだ!

国の交付金を財源に、示された「推奨メニュー」と、過去の実績も踏まえて下記5事業を選定。「1日も早く」支援が届くことを目指しています!

## 生活者支援電子クーポン事業 生活者支援 1,038万円

- ・大好評だったスマホクーポン配信事業が再び。
- ・利用者の声を受けて、割引額やレシート処理方法などが変更予定。

**割引率** 30% (お店の選択した設定額に応じて割引)  
**配信期間** 10月上旬から12月上旬 (5回程度の配信を予定)



利用者・事業者へ取扱い方法などの継続的な支援で、さらなる町内の消費喚起に期待。

大幅な登録者増は地域おこし協力隊による魅力あふれる配信も要因。

### 事業者は このように考える!

割引率が変わって、参加できるお店も増えると思うので、楽しみです。  
高橋かのさん (錦町)

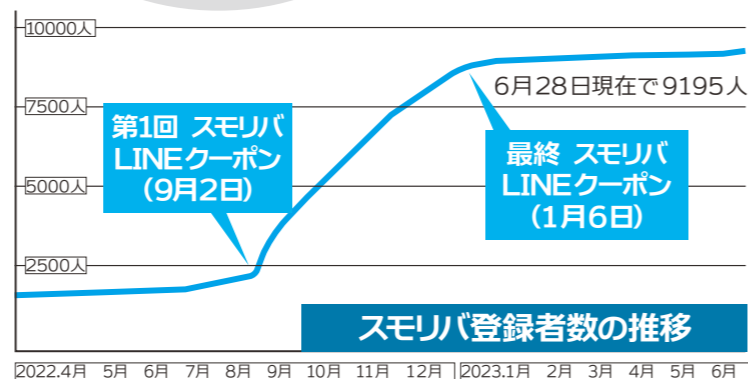
クーポン事業がきっかけで、スマホの存在を知ることができました。  
早川有介さん (神明町)

### ●クーポン使用時の割引例

- A店 設定額 500円→割引額150円
- B店 設定額 1,000円→割引額300円
- C店 設定額 2,000円→割引額600円

### 小川町情報スマホ

小川町に関する情報、クーポンやイベント、インタビューなどお届けする公式LINE



## NEW 省エネ家電買替え促進事業

生活者支援 694万円

- ・高騰する電気料金の負担軽減を支援。
- ・ゼロカーボンシティ実現に向けて、温室効果ガス排出量削減に対する町民の意識醸成を図る。

**対象** エアコン・冷蔵庫 (省エネ性能ラベル3つ星以上かつ省エネ基準達成率100%以上のもの)

**補助率** 20% (上限額50,000円)  
町内業者から購入の場合25% (上限額55,000円)



省エネ家電で環境に配慮を

先着順で予算に限りがあるため、多くの町民の希望に応えられるかが課題。

## 水道料金補助事業

生活者支援 事業者支援 5,970万円

- ・3回目となる水道料金の減免。
- ・事務経費がかからずスピーディーな支援。

**対象** 全ての水道利用者 (個人・法人を問わない)

**対象・期間** 4か月 (令和5年8月~11月請求分)

※一般的な家庭の場合、一世帯当たり合計4,800円程度の補助

議会発信で始まった水道料金補助事業。ほぼすべての世帯・事業所への確実な支援が実現。

基本使用料<sup>\*</sup>の免除は年金生活者にはとても助かります。  
山田滋子さん (深田)

## 学校給食支援事業

生活者支援 597万円

- ・物価高騰による保護者負担の値上げ分 (月300円) を軽減。
- ・食材費高騰分を給食会計に補填し良質な学校給食を維持。

**減免期間** 年度当初に遡り、令和5年4月~令和6年3月までの11か月分 (8月を除く)。

支援が終了する令和6年4月以降の値上げが心配。

給食は安価でありがたいです。食材費が高くなったので値上げは仕方ないと思っていましたが、その分の補助は助かります。  
高橋純子さん (能増)

## 低所得者支援給付金事業

生活者支援 1億126万円

**対象** 令和5年度住民税非課税世帯

- ・エネルギーや食料品価格等の物価高騰の影響が大きい低所得者世帯を支援。

**支給額** 1世帯当たり3万円

本当に支援が必要な人や世帯へのさらなる対応が課題。



## 事業の効果はしっかりと検証

電力・ガス・食料品の価格高騰は一時的な要因によるものだけでなく、様々な問題によって引き起こされている。

一時的な支援だけでなく、持続可能性を考慮した長期的な対策が求められる。

また、今回の給付金事業が「本当に支援が必要な人」に行き届いているのか、なども課題として残る。

今後、事業の効果もしっかりと検証し、より持続可能な解決策を追求していく必要がある。

← 次ページは  
議案審議!